

再評価【番号1】道路整備課

主要地方道 阿南小松島線  
立江櫛漕工区

# 1. 事業概要

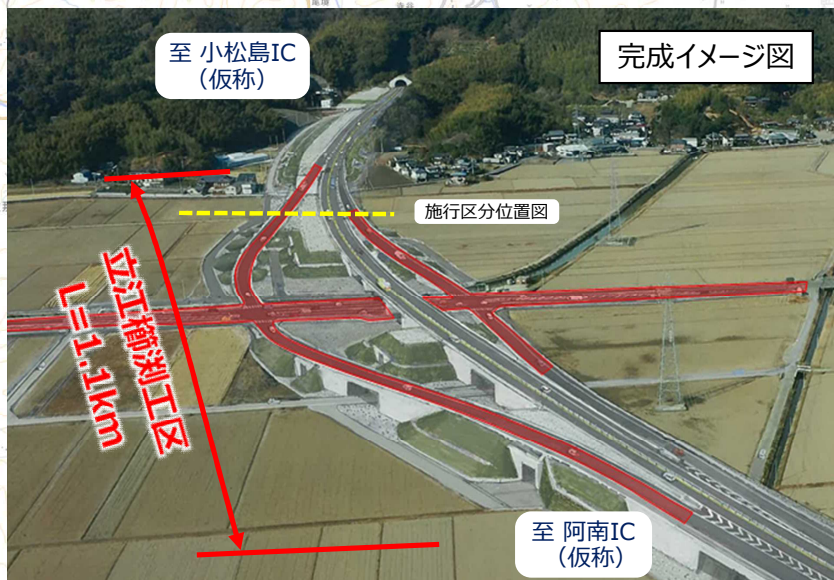
## 位置図



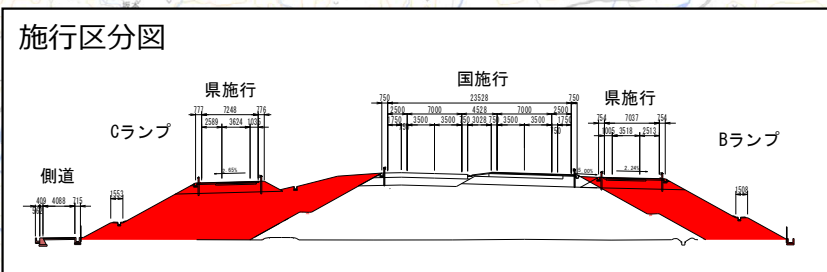
計画諸元	
延長	1.1km
事業費	45億円 (+15億円)
道路規格	A規格
設計速度	40Km/h

## 凡例

- 主要渋滞箇所
- 主要渋滞区間
- 一般国道55号
- 徳島南部自動車道
- (主)阿南小松島線
- (主)阿南勝浦線

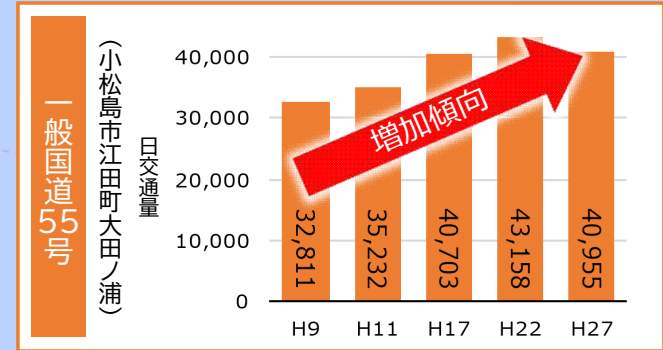
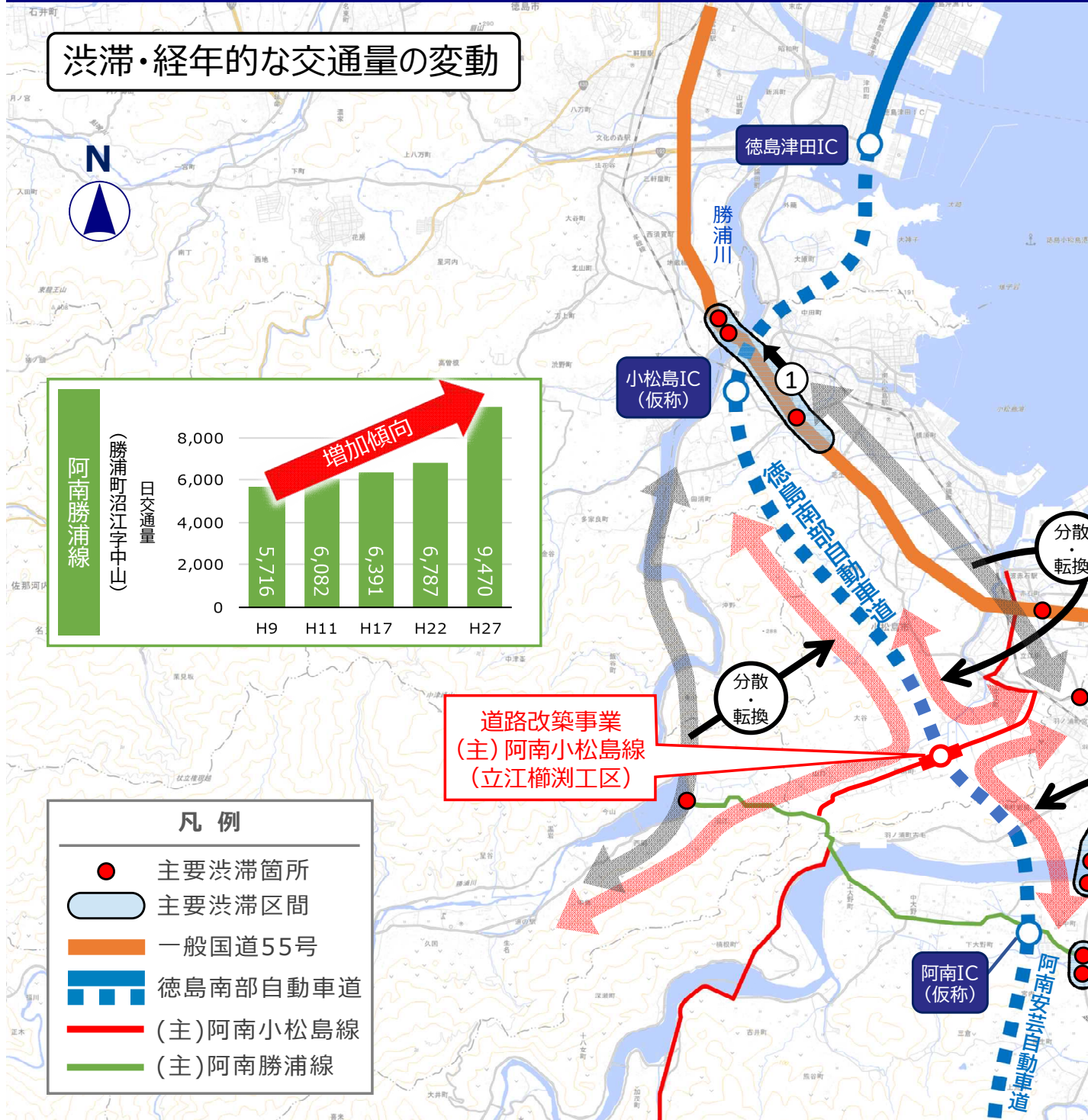


道路改築事業  
(主)阿南小松島線  
(立江榑渚工区)



## 2. 道路交通上の課題

### 渋滞・経年的な交通量の変動



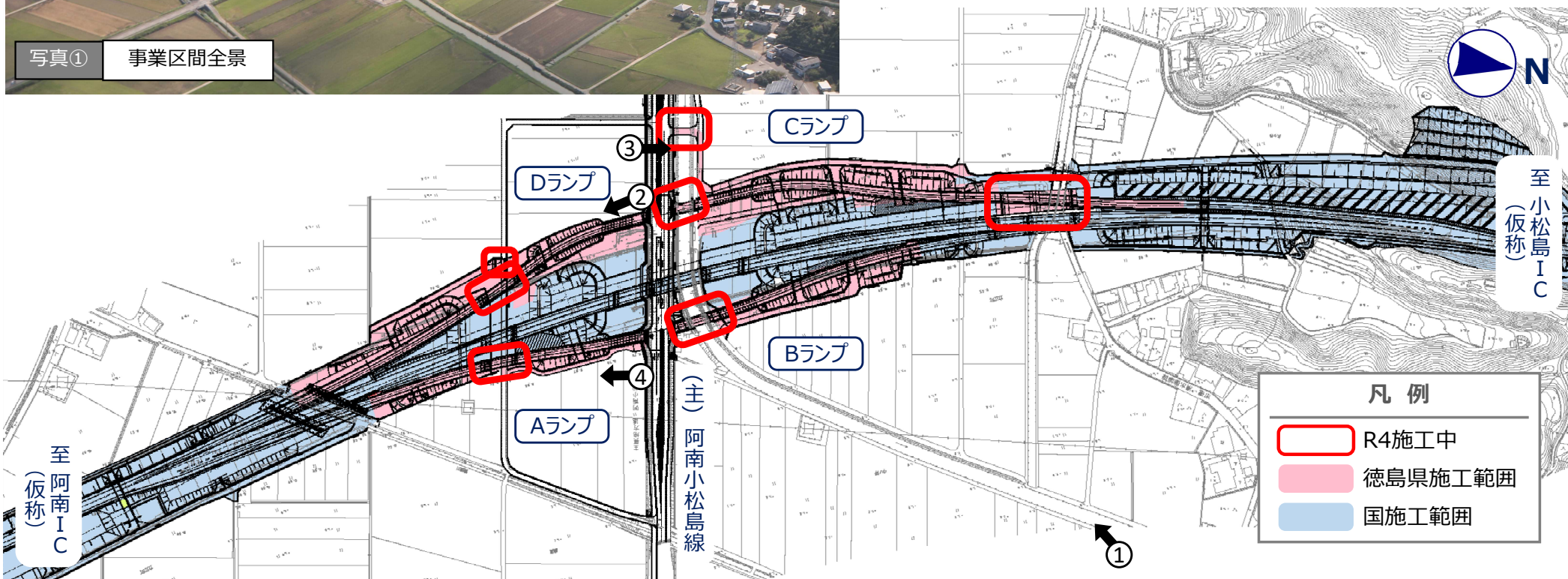
- 凡例
- 主要渋滞箇所
  - 主要渋滞区間
  - 一般国道55号
  - 徳島南部自動車道
  - (主)阿南小松島線
  - (主)阿南勝浦線

# 3. 事業の進捗状況



写真① 事業区間全景

進捗率	
事業費	43%
用地	100%



写真② 南側OFFランプ(D)計画地



写真③ 北側ONランプ(C)計画地

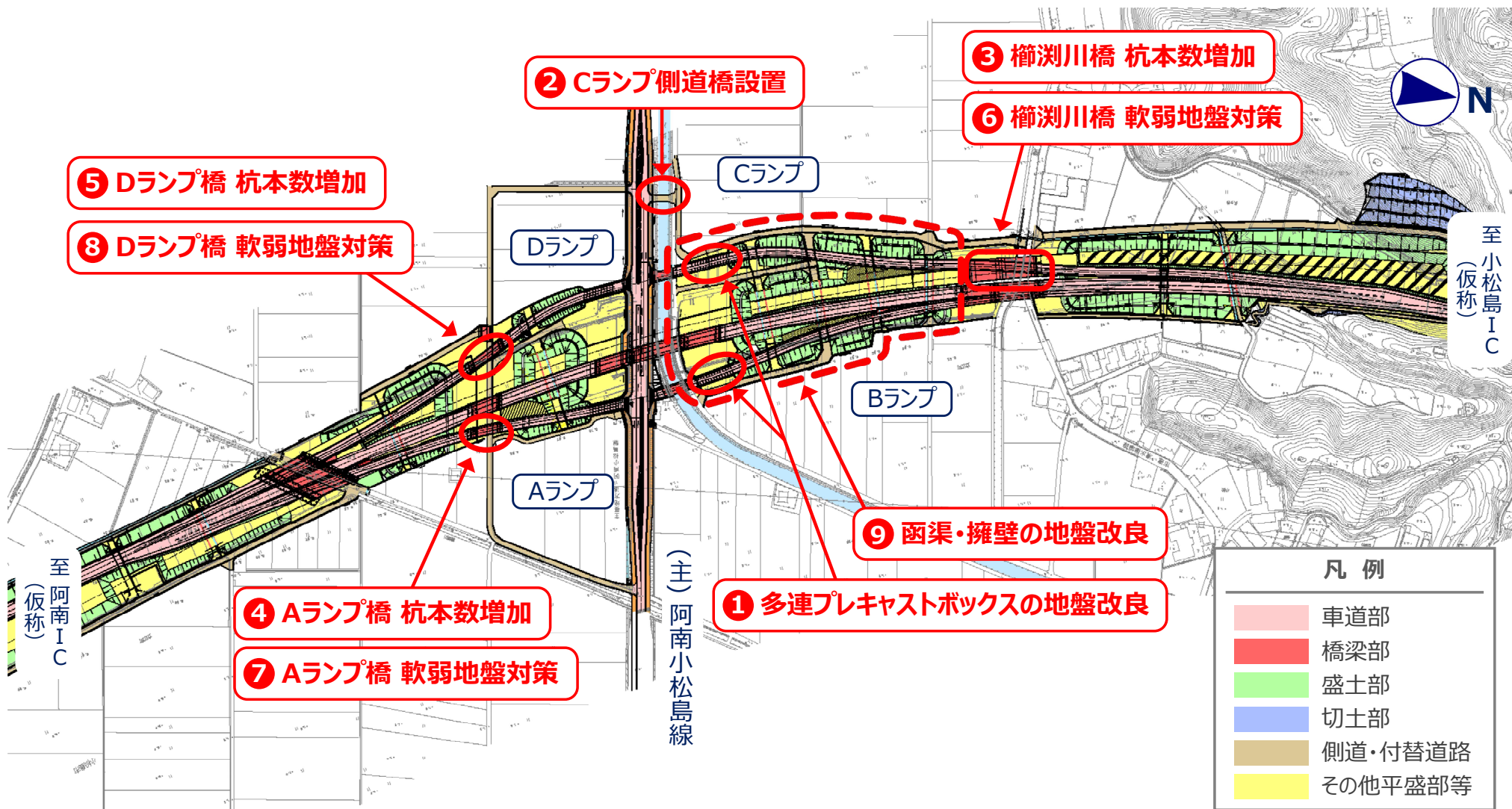


写真④ 南側ONランプ(A)計画地

# 4. 前回評価時からの変更点

全体事業費

約 48 億円 (地域活性化 I C) 【※うち県事業費 45億円 (+15億円)】



## 5. 事業評価結果

### 貨幣価値換算可能な整備効果

#### ①従来の 3便益

- ・走行時間短縮便益
- ・走行経費減少便益
- ・交通事故減少便益

計 **47.4** 億円  
(現在価値化後)

#### ②その他 の便益

- ・環境負荷低減便益

計 **2.0** 億円  
(現在価値化後)

: 2.0 億円

#### 費用

- ・事業費
- ・維持管理費

計 **43.7** 億円  
【約40.9億円※】  
(現在価値化後)

その他便益を含む  
**B / C = 1.1**【1.2※】

【※県事業費】

### 貨幣価値に表れない整備効果

#### 産業振興

#### ■ 地域活性化

- ・地域振興拠点との一体的整備による相乗効果

#### ■ 物流支援

- ・周辺の農産地と高速道路を直結し市場を拡大

➡ **周辺地場産業の活性化**

#### 安全・安心

#### ■ 緊急医療活動の支援

- ・主要渋滞区間、箇所に指定されている路線の代替路を構築、渋滞緩和やそれに伴う定時性を確保

➡ **地域の安全・安心を確保**

#### 防災・減災

#### ■ 地域防災力の向上

- ・周辺地域のみならず、勝浦町や上勝町への支援ルートを構築
- ・津波避難所も兼ねる地域振興拠点へのアクセス機能強化

➡ **周辺施設の災害対応機能強化**

# 6. 道路整備による多様な効果【産業振興】

## 産業振興

### ■ 物流支援

・周辺の農産地と高速道路を直結し商圈を拡大

### ■ 地域活性化

・地域振興拠点との一体的整備による相乗効果

➡ **周辺地場産業の活性化**

事業箇所周辺に計画中の  
地域振興拠点イメージ



徳島津田IC  
徳島県央・西部地域  
京阪神方面

小松島IC  
(仮称)

経済センター

物流センター

対象事業

立江支所

立江榊刈IC  
(仮称)

榊刈椎茸組合

菌床センター

農事組合法人  
榊刈きのこ

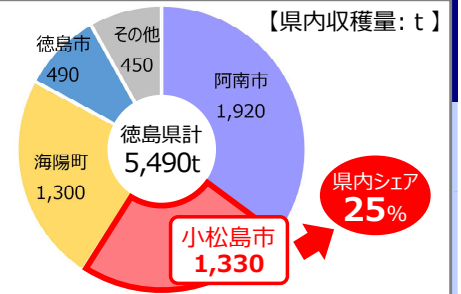
阿南IC  
(仮称)

生比奈支所

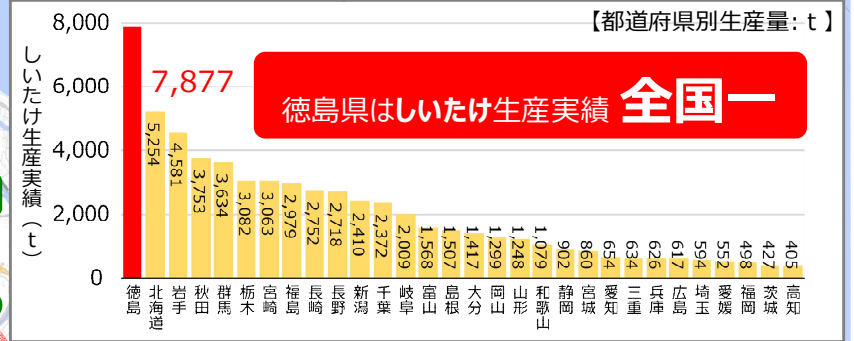
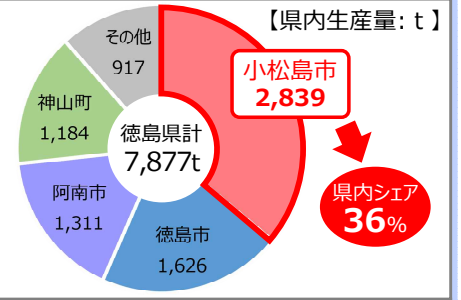
### 凡例

- JA集積機能施設
- シイタケ生産施設

## 冬春きゅうり



## しいたけ



# 6. 道路整備による多様な効果【安全・安心】

## 安全・安心

### ■ 緊急医療活動の支援

- 県南で唯一の3次救急医療機関である徳島赤十字病院へのアクセス性を向上させる。
- 主要渋滞区間、箇所指定されている路線の代替路を構築することから、渋滞緩和に伴う定時性を確保し、各種医療機関へのアクセス性を向上させる。

➡ **地域の安全・安心を確保**

凡例	
●	主要渋滞箇所
○	主要渋滞区間
◎	医療機関
○	救急車配備施設



徳島赤十字病院のドクターカー



# 6. 道路整備による多様な効果【防災・減災】

## 防災・減災

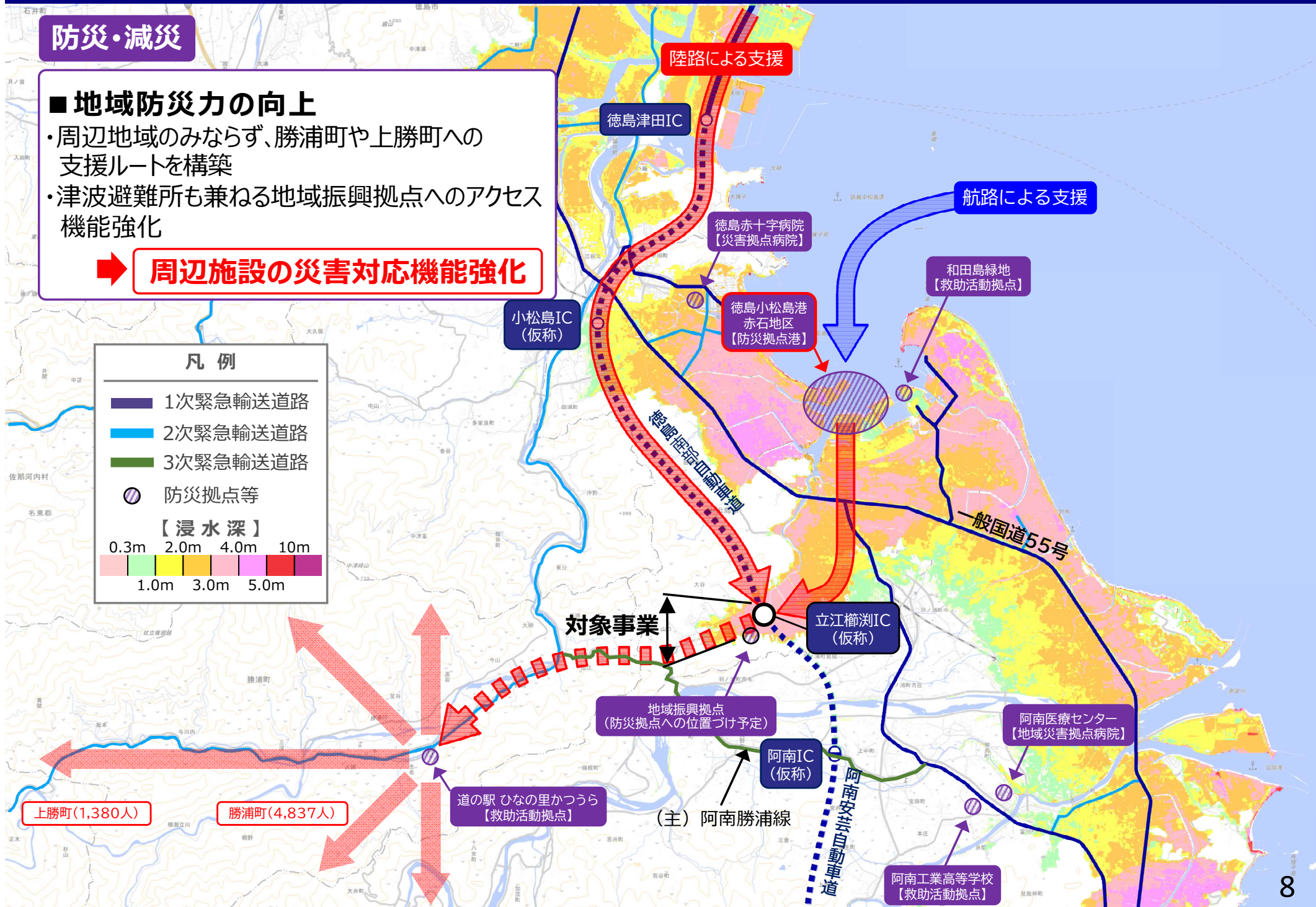
### ■ 地域防災力の向上

- ・周辺地域のみならず、勝浦町や上勝町への支援ルートを構築
- ・津波避難所も兼ねる地域振興拠点へのアクセス機能強化

➡ 周辺施設の災害対応機能強化

#### 凡例

- 1次緊急輸送道路
  - 2次緊急輸送道路
  - 3次緊急輸送道路
  - 防災拠点等
- 【浸水深】
- |      |      |      |     |
|------|------|------|-----|
| 0.3m | 2.0m | 4.0m | 10m |
| 1.0m | 3.0m | 5.0m |     |



陸路による支援

航路による支援

対象事業

上勝町(1,380人)

勝浦町(4,837人)

# 7. 今後の対応方針（案）

## 貨幣価値換算可能な整備効果

### ①従来の3便益

- ・走行時間短縮便益
- ・走行経費減少便益
- ・交通事故減少便益

計 **47.4** 億円  
(現在価値化後)

### ②その他の便益

- ・環境負荷低減便益

計 **2.0** 億円  
(現在価値化後)

: 2.0 億円

### 費用

- ・事業費
- ・維持管理費

計 **43.7** 億円  
【約40.9億円※】  
(現在価値化後)

その他便益を含む  
**B / C = 1.1【1.2※】**

【※県事業費】

## 貨幣価値に表れない整備効果

### 産業振興

#### ■ 地域活性化

- ・地域振興拠点との一体的整備による相乗効果

#### ■ 物流支援

- ・周辺の農産地と高速道路を直結し市場を拡大

➡ **周辺地場産業の活性化**

### 安全・安心

#### ■ 緊急医療活動の支援

- 主要渋滞区間、箇所指定されている路線の代替路を構築、渋滞緩和やそれに伴う定時性を確保

➡ **地域の安全・安心を確保**

### 防災・減災

#### ■ 地域防災力の向上

- ・周辺地域のみならず、勝浦町や上勝町への支援ルートを構築
- ・津波避難所も兼ねる地域振興拠点へのアクセス機能強化

➡ **周辺施設の災害対応機能強化**

## ■ 今後の対応方針（案）

**事業継続**